

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～28℃台を示し、やや高め～かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週の79%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.8トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり1kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の6%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり128kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり19kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり632kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり38kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり154kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり141kgの水揚げで、前週の62%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/9～9/13の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、ロシア海域～大和堆周辺で操業。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）では4日延71隻、総計5,922箱、1航海最高308箱、平均63.4箱。スルメイカ（20～40入）1,947箱、ケンサキイカ（2～4立）3,975箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>